

令和5年度（2023年度）  
デジタル田園都市国家構想交付金事業  
（地方創生推進タイプ、地方創生拠点  
整備タイプ）及び企業版ふるさと納税  
寄附充当事業の効果検証

令和5年（2023年）10月

熊 本 県

# デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府地方創生推進室・地方創生推進事務局）

令和5年度概算決定額 **1,000.0億円**【うち重要政策推進枠100.0億円】  
 （令和4年度予算額 1,000.0億円）

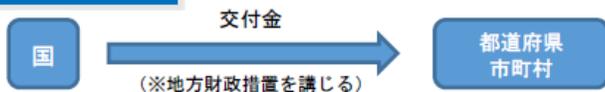
## 事業概要・目的

- デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、令和4年度第2次補正予算において「デジタル田園都市国家構想交付金」を創設した。
- 5か年の新たな総合戦略「デジタル田園都市国家構想総合戦略」も踏まえつつ、各地方公共団体が目指す地域ビジョンの実現を総合的・効果的に支援する観点から、関係省庁と連携しつつ、政策分野横断的に支援を行うデジタル田園都市国家構想交付金の活用を促進していく。



（注1）令和4年度第2次補正予算において、デジタル実装タイプ400億円、地方創生拠点整備タイプ400億円を措置。  
 （注2）本交付金の一部は、地方大学・産業創生法に基づく交付金として執行。

## 資金の流れ



## 事業イメージ・具体例

○ **主な対象事業**  
 デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組や拠点施設の整備などを支援。

### 【地方創生推進タイプ】

- ・ 自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、デジタル社会の形成への寄与等の要素を有する取組等（先駆型・Society5.0型：最長5年間、横展開型：最長3年間）

	1事業当たり交付上限額（国費）	申請上限件数
都道府県	先駆型3.0億円 横展開型1.0億円	6事業 ※広域連携事業は3事業まで追加可
中核中核都市	先駆型2.5億円 横展開型0.85億円	5事業 ※広域連携事業は2事業まで追加可
市区町村	先駆型2.0億円 横展開型0.7億円	4事業 ※広域連携事業は1事業まで追加可

※Society5.0型は都道府県・中核中核都市・市町村ともに交付上限額（国費）3.0億円、申請上限件数の枠外。

- ・ 東京圏からのUIJターンの促進及び地方の担い手不足対策
  - 移住支援金の子育て世帯加算について、最大30万円から最大100万円に拡充。
  - 「デジタル人材の移住や就業」や、「デジタル技術を活用した起業」等を支援・促進。
- ・ 省庁の所管を超える2種類以上の施設（道・汚水処理施設・港）の一体的な整備
  - 施設の整備に併せて、クラウド型WEB監視システムの導入や施設情報・維持管理情報のデジタル化など、デジタル技術の活用・連携を促進。

### 【地方創生拠点整備タイプ】（原則として3年間（最長5年間））

	都道府県	中核中核都市	市区町村
1事業当たりの交付上限額の目安（国費）	15億円程度	10億円程度	5億円程度

※申請上限件数は「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の期間（2023～2027年度）を通じて1事業。

### （民間事業者の施設等整備に対しての間接補助）【拡充】

民間事業者等が一定の要件を満たす公共性・公益性を有する拠点施設等を整備する取組に対し、地方公共団体が整備費の全部又は一部を補助した場合に、国が当該補助経費の一部を交付することを可能とする。

## 期待される効果

○ 地方からデジタルの実装を進めるとともに、地方における安定した雇用創出など地方創生の推進に寄与する取組を進め、「デジタル田園都市国家構想」を推進する。

# プロジェクト一覧（令和4年度実施分）

## 地方創生推進タイプ

NO.	プロジェクト名	大分類	小分類	実績額(千円)	繰越額(千円)
1	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト	人の流れ	②	8,516	90,000
2	「くまもとではたらく」若者の県内定着促進プロジェクト	人の流れ	②	24,228	0
3	「くまもと暮らし」スタートアップ応援プロジェクト	人の流れ	②	56,410	0
4	集え未来の担い手！技能継承“SMART”推進プロジェクト	しごと	①	25,580	0
5	くまもと発！自然共生型産業成長促進プロジェクト	しごと	③	16,831	0
6	くまもと版地方創生移住支援事業／くまもと版地方創生起業支援事業	移住・起業・就業	—	33,044	0
7	新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト	しごと	③	73,283	0
8	成長産業化に向けたくまもと型林業イノベーションプロジェクト	しごと	①	22,181	5,235
9	若者の雇用促進による熊本への人の流れの創出プロジェクト	人の流れ	②	59,514	0
10	熊本版 第4次産業革命に向けた先端技術導入を軸とした地場産業成長プロジェクト	しごと	③	59,262	0
11	更なる高みへ！「農業」を軸としたビジネスモデル展開プロジェクト	しごと	①	19,635	0
12	未来へつなげるくまもと農業の人財確保・育成プロジェクト	人の流れ	②	62,580	0
13	球磨川流域の豊かな恵みを生かしたグリーンニューディール促進プロジェクト	まちづくり	②	74,763	0
14	くまもと型オープンイノベーション推進プロジェクト	しごと	③	24,939	0
15	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト	しごと	①	45,570	6,435
16	地域の農林水産業を元気に！くまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト	しごと	①	87,752	0
17	くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト	しごと	②	72,146	12,565
18	「グリーンエボリューション（緑の進化）」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト	しごと	①	58,700	165
19	産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト	しごと	③	77,539	0
20	世界のマーケットへチャレンジ！新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト	しごと	③	44,449	16,534
21	「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト	人の流れ	②	62,353	0
22	くまもとDXグランドデザイン推進プロジェクト	しごと	③	23,479	0
23	国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト	しごと	②	10,558	0
24	スポーツと芸術文化を活用した地域活性化事業	まちづくり	②	26,747	0
合計				1,070,062	130,934

# プロジェクト分類（令和4年度実施分）

## 地方創生推進タイプ

大分類	小分類	プロジェクト数	実績額 (千円)	繰越額 (千円)
まちづくり	②（①を除く）コンパクトシティ、まちの賑わいの創出、連携中枢都市等のまちづくり分野	2	101,510	0
地方への人の流れ	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	6	273,601	90,000
しごと創生	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	6	259,418	11,835
	② 観光振興(DMO)等の観光分野	2	82,704	12,565
	③（①、②を除く）ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野	7	319,782	16,534
移住支援、マッチング支援、起業支援	—	1	33,044	0
合計		24	1,070,062	130,934

※千円未満四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合がある

## KPI（重要業績評価指標）の達成状況

### <令和4年度におけるKPIの達成状況>

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中	⑥令和5年度以降にKPIを設定
24	79	46	8	3	14	8	0

### <上記のうち、令和4年度で終了したプロジェクトの事業期間全体のKPIの達成状況>

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中	⑥令和5年度以降にKPIを設定
7	21	11	5	1	4	0	0

# プロジェクト一覧及び分類（令和3年度繰越分）

## 地方創生推進タイプ

NO.	プロジェクト名	大分類	小分類	実績額(千円)	繰越額(千円)
1	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト	人の流れ	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	24,580	0
2	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト	しごと	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	6,435	0
3	くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト	しごと	② 観光振興(DMO)等の観光分野	7,990	0
合計				39,004	0

# プロジェクト一覧（H29年度補正～R3年度補正分）

## 地方創生拠点整備タイプ （地方創生拠点整備交付金含）

NO.	プロジェクト名	予算区分	大分類	小分類	実績額 (千円)
1	畜産新技術導入による生産性・競争力強化プロジェクト	H29年度 補正	しごと	③	102,423
2	海藻増養殖研究機能強化による海藻の生産性革命プロジェクト		しごと	①	63,517
3	林業生産性向上のための研修拠点強化プロジェクト		しごと	①	207,765
4	阿蘇草原を活用した畜産農家の放牧・飼養管理生産性革命プロジェクト		しごと	③	89,930
5	先端技術を活用した畜産の生産性革命プロジェクト		しごと	③	354,319
6	長期貯蔵による農産物の生産性向上・高付加価値化拠点形成プロジェクト		しごと	①	107,702
7	情報通信及び解析技術を活用した施設園芸の統合環境制御による生産性向上プロジェクト		しごと	①	255,108
8	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムにおける中核拠点整備プロジェクト	H30年度 補正	人の流れ	②	121,862
9	熊本地震の経験や教訓等を未来に語り継ぐ熊本地震震災ミュージアム体験・展示施設整備プロジェクト	R3年度 補正	しごと	②	458,398
合計					1,761,024

## プロジェクト分類（H29年度補正～R3年度補正分）

地方創生拠点整備タイプ  
（地方創生拠点整備交付金含）

大分類	小分類	プロジェクト数	実績額 （千円）
地方への人の流れ	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	1	121,862
しごと創生	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	4	634,092
	② 観光振興(DMO)等の観光分野	1	458,398
	③（①、②を除く）ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野	3	546,672
合計		9	1,761,024

## KPI（重要業績評価指標）の達成状況

### <令和4年度におけるKPIの達成状況>

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中	⑥令和5年度以降にKPIを設定
9	27	12	1	0	7	4	3

### <上記のうち、令和4年度でKPI設定期間が終了したプロジェクトの事業期間全体のKPIの達成状況>

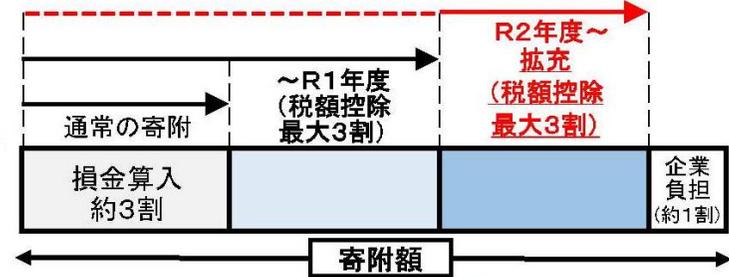
プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中	⑥令和5年度以降にKPIを設定
7	21	9	2	0	6	4	0

# 企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除

## 制度のポイント

- 企業が寄附しやすいよう、
  - ・損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乗せ
  - ・寄附額の下限は10万円と低めに設定
- 寄附企業への経済的な見返りは禁止
- 寄附額は事業費の範囲内とすることが必要
  - ※ 以下の地方公共団体は対象外。
    - ① 不交付団体である東京都
    - ② 不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市区町村
  - ※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。



例) 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減。

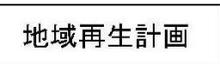
- ① 法人住民税 寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ② 法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
- ③ 法人事業税 寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

## 活用の流れ

① 地方公共団体が  
地方版総合戦略を策定



② ①の地方版総合戦略を  
基に、地方公共団体が  
地域再生計画を作成



③ 計画の認定



④ 寄附

企業



⑤ 税額控除

企業が所在する自治体  
(法人住民税・法人事業税)



国  
(法人税)

◆ 地域再生計画の認定を受けた地方公共団体の数: 46道府県1,543市町村(令和5年4月1日時点)

※ デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)の地方負担分に、200万円以上又は交付対象事業費の1割以上の金額の寄附金を充当する場合は、横展開型(3年間)の事業であっても最長5年間の申請が可能となる。

# 令和4年度寄附受入実績（分野ごと）

## 企業版ふるさと納税

NO.	寄附対象分野	件数	寄附金額(千円)
1	新型コロナウイルス感染症への対応	2	1,100
2	令和2年7月豪雨からの復旧・復興	11	28,238
3	熊本地震からの復旧・復興	5	4,423
4	地方創生の取組全般	22	21,954
5	教育	3	300
6	食の供給機能強化	2	600
7	阿蘇草原再生	1	1,132
8	将来に向けた地方創生	2	200
9	地域の雇用創出	3	300
10	子育て支援	2	2,600
11	環境保全	1	108
12	県立商工業高校への支援	1	2,000
13	プロスポーツ支援	1	10,000
14	半導体関連産業の集積促進	1	1,000
15	地球温暖化対策	1	9,332
合計		58	83,287

※千円未満四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合がある

# 寄附充当事業一覧（令和4年度寄附受入分）

## 企業版ふるさと納税

NO.	事業名	プロジェクト名 (デジタル田園都市国家構想交付金)	分野	充当額 (千円)
1	くまもと地産地消革新プロジェクト事業	「グリーンエボリューション(緑の進化)」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト	豪雨災害	2,200
2	熊本空港周辺地域における産業振興創出事業	産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト	熊本地震	3,696
3		世界のマーケットへチャレンジ！新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト	熊本地震	2,030
4	テレワーク推進体制強化事業	「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト	地域の雇用創出	1,400
5	県立高校魅力化きらめきプラン		教育	1,100
6	くまもとDXグランドデザイン推進事業	くまもとDXグランドデザイン推進プロジェクト	地方創生全般	2,000
7	新たな旅のスタイル促進事業	国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト	地方創生全般	2,000
8	森林サービス産業創出支援事業	球磨川流域の豊かな恵みを生かしたグリーンニューディール促進プロジェクト	豪雨災害	2,341
9	阿蘇草原再生事業	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト	阿蘇草原再生	700
10	持続可能な草原維持システム構築推進事業			432
11	世界文化遺産登録推進事業 (阿蘇世界文化遺産登録推進事業)		熊本地震	2,800
12	地域未来モデル事業 (フードバレー地域農産物活用拠点強化事業)	地域の農林水産業を元気に！くまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト	豪雨災害	14,429
13	SDGs推進事業	新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト	将来に向けた 地方創生	2,952
14	建設産業新3K推進プロジェクト事業	若者の雇用促進による熊本への人の流れの創出プロジェクト	豪雨災害	10,367
15	熊本を支える産業人材育成事業		豪雨災害	1,000

## 寄附充当事業一覧（令和4年度寄附受入分）

## 企業版ふるさと納税

NO.	事業名	備考	分野	充当額 (千円)
16	放課後児童クラブ施設整備事業		子育て支援	1,000
17	放課後児童クラブ利用サポート事業		子育て支援	300
18	ひとり親家庭等医療費助成事業		子育て支援	1,300
19	産業教育設備整備事業		県立商工業高校への支援	2,200
20	半導体サプライチェーン構築加速化事業		半導体関連産業の集積促進	1,000
21	県民ゼロカーボン行動促進事業		環境保全 地球温暖化対策	235
22	環境立県推進課職員給	※企業版ふるさと納税(人材派遣型)活用分	地球温暖化対策	9,205
小計				64,687
■基金積立				
1	地方創生全般		地方創生全般	8,000
2	プロスポーツによる地域活性化事業		プロスポーツ支援	10,000
3	食の供給機能強化		食の供給機能強化	600
合計				83,287

※千円未満四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合がある

## 寄附充当事業一覧（令和3年度寄附受入分）※基金取崩し

基金名		取崩し額(千円)		
ふるさとくまもと応援寄附基金		13,996		
NO.	事業名	備考	分野	充当額 (千円)
1	プロスポーツによる地域活性化事業		プロスポーツ支援	13,996
合計				13,996

デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生推進タイプ）等  
（令和4年度実施分）

推進 1

プロジェクト名(事業期間)	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト（平成30年度～令和4年度）
プロジェクト概要	地震断層等の震災遺構を巡る回廊型フィールドミュージアムを実現し、熊本地震の記憶や経験、教訓を国内外に発信することで防災・減災の取組に貢献する。さらに回廊ルートを新たな観光資源と捉え、県内の観光地とつなぎ巡ることで、交流人口の拡大を図るとともに、地域産業の振興や地域の活性化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業 熊本地震震災ミュージアム中核拠点整備事業	観光戦略部	683	342	来場者が増加した震災遺構(旧東海大学阿蘇キャンパス)での解説ガイドの充実強化、震災ミュージアムホームページをはじめとした各種広報媒体による熊本地震の情報発信を実施。
2	熊本地震デジタルアーカイブ事業	知事公室	1,225	613	復旧・復興の過程を記録するための被災箇所(90地点)の定点撮影を実施。
3	震災ミュージアムを活用した教育旅行誘致促進事業	観光戦略部	1,124	562	熊本地震震災ミュージアムを活用した教育旅行の誘致に向けて、防災・減災プログラムのブラッシュアップのため、関係分野に精通したアドバイザー招請事業を実施。
4	新防災センター震災ミュージアム等整備事業	知事公室	14,000	7,000	県民の防災学習の拠点として熊本県防災センター1階に展示・学習室を整備。
			17,033	8,516	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		平成30年度～令和4年度増加分		令和4年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
回廊型フィールドミュージアム訪問者数 0人(H29)⇒150,000人(R4)	観光戦略部	人	0	400	3,333	2,600	1,758	27,000	26,451	5,000	54,536	115,000	51,182	150,000	137,260	④目標値の達成は 5割未満	②目標値の7割以 上を達成
震災遺構や熊本地震を伝える拠点を巡るツアー参加者数 0人(H29)⇒15,000人(R4)	観光戦略部	人	0	200	223	200	14	2,600	4,033	500	18,993	11,500	3,067	15,000	26,330	④目標値の達成は 5割未満	①目標値を達成
回廊型フィールドミュージアム訪問による観光消費額の増 加額 0円(H29)⇒2,355,000千円(R4)	観光戦略部	千円	0	3,920	19,550	25,480	35,250	264,600	270,877	255,500	372,427	1,805,500	353,108	2,355,000	1,051,212	④目標値の達成は 5割未満	④目標値の達成は 5割未満

推進 2

プロジェクト名(事業期間)	「くまもとではたらく」若者の県内定着促進プロジェクト（平成30年度～令和4年度）
プロジェクト概要	深刻化する人口流出と、それに伴う県内企業の人手不足を解消するため、地元就職の促進に効果的な年代である若者(学生)をターゲットとし、Uターン就職の支援や県内就職に関する情報発信等を実施することにより、若者の県内への「還流」と「定着」を促進し、将来の熊本を支え、次代を担う人材の確保を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	「くまもとではたらく」若者の県内定着促進事業	商工労働部	37,551	18,775	熊本、東京、大阪、福岡に設置した「熊本県UIJターン就職支援センター」において、UIJターン就職希望者や人材を確保したい県内事業者に対する相談対応、情報提供及びマッチング支援を実施し、117人(うち学生:46人)のUIJターン就職を実現。
2	熊本県ブライ企業推進事業	商工労働部	359	179	ブライ企業認定企業に対し、コロナ禍を経た採用活動の変化や現状を理解し、自社の採用戦略を考えるためのワークショップを開催(30社参加)。
3	熊本を「知る」・「会う」プロジェクト事業	商工労働部	10,547	5,273	ブライ企業に認定された企業の魅力や情報を発信するためのガイドブックの制作・配布(6,500部)に加え、ブライ企業をはじめとした県内企業と県内就職を考えている高校生及び高校教諭をマッチングするためのイベントを実施(計2回、延べ105社、459人参加)。
			48,456	24,228	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		平成30年度～令和4年度増加分		令和4年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
「Uターン就職サポーター(仮)」を通じて熊本へUIJターン 就職した新卒学生数 0人(H29)⇒230人(R4)	商工労働部	人	0	0	0	50	31	60	24	60	26	60	46	230	127	②目標値の7割以 上を達成	③目標値の5割以 上を達成
「新規学卒者(県内大学)の県内就職率」 39.9%(H28)⇒ 59.9%(R4)	商工労働部	%	39.9	6.0	3.7	6.0	-0.3	6.0	2.1	1.0	1.7	1.0	0.8	20.0	8	②目標値の7割以 上を達成	④目標値の達成は 5割未満
「ブライ企業」に就職した新卒学生数 646人(H29)⇒ 3,846人(R4)	商工労働部	人	646	200	1,251	600	1,080	600	1,807	900	1,564	900	1,784	3,200	7,486	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 3

プロジェクト名(事業期間)	「くまもと暮らし」スタートアップ応援プロジェクト(令和元年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	地方暮らしに興味のある層への情報発信や熊本への移住を希望する県外居住者に対する受入体制の整備・情報発信の強化など移住希望者のステージに応じた取組みにより、移住定住を促進するとともに地域活動の担い手や人材の確保を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	移住定住促進事業	企画振興部	112,820	56,410	本県への移住定住を促進するため、移住情報誌への連載や移住相談会(オンライン開催)の開催など、移住希望者のステージに応じた取組みを体系的に実施し、移住相談窓口を通じて148人の移住を実現。
			112,820	56,410	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和元年度～令和5年度増加分		令和4年度 評価	令和元年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
移住者数 6人(H29)⇒251人(R5)	企画振興部	人	6	15	29	30	56	60	58	65	148	75	/	245	/	①目標値を達成	/
地域おこし協力隊の定住率 54.2%(H29.3)⇒75.0%(R5)	企画振興部	%	54.2	1.8	19.8	4.0	13.4	5.0	19.5	5.0	17.6	5.0	/	20.8	/	①目標値を達成	/
東京・大阪相談窓口における移住相談件数 1,250件(H29)⇒8,850件(R5)	企画振興部	件	1,250	1,350	1,911	1,450	1,349	1,600	2,426	1,600	2,442	1,600	/	7,600	/	①目標値を達成	/

推進 4

プロジェクト名(事業期間)	集え未来の担い手！技能継承”SMART”推進プロジェクト(令和元年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	農業、水産業の一次産業、建設業や製造業を始めとした技能職等を若者に魅力ある産業として定着させ、かつ実践的な技術・技能を若いうちから学ぶなど、即戦力としての技術・技能を身に付け、継承していく仕組みを構築する。さらには、現にその産業を支えている担い手の技術力・生産力の向上を図り、人口減少社会における県内主要産業の稼ぐ力を高める。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	みらいの技能士育成事業	商工労働部	3,841	1,921	技能士の魅力を伝え、技能職への入職を意識してもらうため、高校3校で技能体験セミナーを実施。また、技能士のスキルアップのため、技能検定の事前講習会を実施した技能団体(4団体)を支援。
2	スマート農業導入加速化事業	農林水産部	18,177	9,088	農業者が欲しい情報をいち早く受け取れるよう、メルマガの改良やHPの検索機能強化を実施するとともに、普及現場において新規就農者等に対しても解かりやすい技術指導を行うため、栽培技術指導動画を作成。また、RTK基地局やドローンを活用した作業の軽労化等を推進するため、有効性等を現地実証。さらに、アシストスーツやドローン、各種センサー等、試験研究機関と一体となった技術適応性の検証を実施。
3	スマート養殖業技術開発事業	農林水産部	22,670	11,335	①シマアジ向け多機能自動給餌機の開発に向け20台を県内2業者に設置。 ②赤潮検知システムの開発のため、クロロフィルaを計測するセンサ3台の原理試作。 ③音AI活性状態センシング機能の開発のため、検証用装置2台を2業者に設置。
4	スマート農業実践による就農促進事業	農林水産部	2,589	1,294	現在と過去のシクラメンの栽培環境を見える化し、12校間で比較検討できるシステムを引き続き運用するとともに、シクラメン栽培施設において高温や強日射が発生した場合、発生元のシクラメン栽培責任者に対し、LINEWORKSで自動的に通知するシステムの運用と、シクラメンの品質を左右する葉数を数える「AI(人工知能)」の開発に着手。さらに、農業高校11校の3年生と遠隔一斉授業を3回行い、スマート農業の具体的な取り組み事例等の紹介により、農業や施設園芸がより取り組みやすくなっていることの理解を促進。
5	BOD監視システム普及・定着実証事業	農林水産部	3,884	1,942	スマートな畜産排水処理導入のための環境整備として、IoT技術を活用した運転制御を行うBOD監視システムの導入を支援。県内への普及・定着を推進するため、データを収集。
			51,161	25,580	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和元年度～令和5年度増加分		令和4年度 評価	令和元年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
スマート農業・養殖業導入に係る労働時間の削減率 0%(H30)⇒28%(R5)	農林水産部	%	0	5.0	6.0	5.0	11.0	6.0	3.0	6.0	5.6	6.0	/	28.0	/	②目標値の7割以上を達成	/
農業大学校卒業者の就農率 56%(H30) → 65%(R5)	農林水産部	%	56.0	1.0	2.4	2.0	13.8	2.0	-4.2	2.0	-10.6	2.0	/	9.0	/	④目標値の達成は5割未満	/
高校生の技能検定受検者数 1,242人(H30)⇒1,553人(R5)	商工労働部	人	1,242	63	282	62	-411	62	316	62	-347	62	/	311	/	④目標値の達成は5割未満	/

推進 5

プロジェクト名(事業期間)	くまもと発！自然共生型産業成長促進プロジェクト(令和元年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	シーズの発掘から育成まで一貫してベンチャーを支援するシステムにより、起業をめざす者が起業しやすい環境、新たなビジネスが絶え間なく生まれ育ちやすい環境を整備し、熊本の活力創造につなげる。また、資金調達が困難な創業初期のベンチャーが必要とする研究開発等を実施しやすい環境を整備し、成長を加速化する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	次世代ベンチャー創出支援事業	商工労働部	33,662	16,831	新たな成長産業の創出につながる起業家やベンチャー等の取組みを後押しするため、ベンチャーコンテストを実施し、26社・チームを発掘。また、創業初期のベンチャーが実施する研究開発、ベンチャーが行うインターンシップ受入れ等を支援。
			33,662	16,831	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和元年度～令和5年度増加分		令和4年度 評価	令和元年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業を通じたベンチャーへの就業者数 17人(H30)⇒60人(R5)	商工労働部	人	17	5	29	7	12	9	7	10	16	12	/	43	/	①目標値を達成	/
事業を通じたベンチャーの資金調達額 80,000千円(H30)⇒680,000千円(R1～R5の総額)	商工労働部	千円	80,000	100,000	499,000	100,000	539,000	150,000	330,000	150,000	730,000	180,000	/	680,000	/	①目標値を達成	/
事業を通じた次世代ベンチャーコンテスト延べエントリー件数 88件(H30)⇒188件(R5)	商工労働部	件	88	15	32	18	32	21	24	22	26	24	/	100	/	①目標値を達成	/

推進 6

プロジェクト名(事業期間)	くまもと版地方創生移住支援事業／くまもと版地方創生起業支援事業(令和元年度～令和6年度)
プロジェクト概要	県内企業と就職希望者とのマッチングを図るマッチングサイトを整備し、県内企業に就職し、または社会的事業等の分野において起業した者に対して移住に必要な経費を支給するとともに、社会的事業等の分野において起業したものに対して起業に必要な経費を支給することで、地域における人材確保を確実なものとし、地域の活力の維持、発展につなげていく。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	移住定住促進事業(移住支援)	企画振興部	53,900	26,950	東京圏在住者の移住を促進するため、本県のマッチングサイトに掲載している県内企業求人への就業者等56名に対して、移住に必要な経費を支給。
2	移住定住促進事業(起業支援)	企画振興部	9,187	4,594	地域コミュニティを維持し、地域住民や移住者の自立した地域づくりを推進するため、地域課題の解決に資することを目的として新たに起業した4名に対し、起業に必要な経費の一部を補助。また、地域の課題解決に効果的な起業を促進するため、県が業務の一部を委託する外部団体と連携し、起業家への伴走支援を実施。
3	「くまもとではたらく」若者の県内定住促進事業	商工労働部	3,000	1,500	熊本、東京、大阪、福岡に設置した「熊本県UIJターン就職支援センター」において、UIJターン就職希望者や人材を確保したい県内事業者に対する相談対応、情報提供及びマッチング支援を実施し、117人(うち学生:46人)のUIJターン就職を実現。
			66,087	33,044	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和元年度～令和6年度増加分		令和4年度 評価	令和元年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
本移住支援事業に基づく移住就業者数 0人(H30)⇒913人(R6)	企画振興部	人	0	73	0	168	8	168	28	168	56	168	/	168	/	913	/	④目標値の達成は5割未満	/
本移住支援事業に基づく移住起業家数 0人(H30)⇒12人(R6)	企画振興部	人	0	2	0	2	2	2	0	2	1	2	/	2	/	12	/	③目標値の5割以上を達成	/
本移住支援事業に基づく起業家数 0人(H30)⇒18人(R6)	企画振興部	人	0	3	3	3	4	3	4	3	4	3	/	3	/	18	/	①目標値を達成	/
マッチングサイトに新たに掲載された求人数 0件(H30)⇒11,900件(R6)	商工労働部	件	0	900	269	2,200	1,016	2,200	1,588	2,200	2,261	2,200	/	2,200	/	11,900	/	①目標値を達成	/
本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数 150世帯(R6)	企画振興部	世帯	0	-	-	-	-	-	-	50	8	50	/	50	/	150	/	④目標値の達成は5割未満	/

推進 7

プロジェクト名(事業期間)	新たな視点での取り組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト(令和2年度～令和4年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	従来の取り組みとは異なる、新たな視点により、交流人口の拡大や健康づくりの取り組み等をモデル的に実施するとともに、持続可能な地域の実現に向けた基盤づくりを行う。地域自らが主体となって継続的に取り組みを行う体制を整え、地域の取り組みが自走化することで、地方創生の実現につなげる。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	SDGs推進事業	企画振興部	10,206	5,103	SDGsを原動力とした地方創生の実現を後押しするため、SDGsの普及啓発に意欲的な企業や団体向けに、SDGsに精通した企業経営者を講師とした基調講演等を実施。
2	地域づくりチャレンジ推進事業 (地域課題解決プロデューサー人材活用事業)	企画振興部	24,109	12,055	人材育成や資金調達のアドバイス等を総合的に行うプロデューサー人材を派遣し、地域課題解決に取り組む地域団体(4団体)の活動を支援。また、併せて地域づくり活動に関する手引書を作成。
3	健康長寿推進事業	健康福祉部	13,567	6,784	健康寿命を伸ばすための6つのアクション(運動、食事、禁煙、健診、口腔ケア、休養)の推進に賛同し、健康づくり活動を実践する企業・団体を「くまもとスマートライフプロジェクト応援団」として登録。優良事例の紹介やウォーキングイベント等を実施し、企業等の活動を支援。
4	商店街活性化支援事業	商工労働部	5,503	2,001	持続可能な商店街をつくるため、商店街が抱える課題解決や活性化につなげる取り組みを支援。 1. 商店街ステップアップ事業(支援事業者数:3団体):消費喚起を目的としたイベントの実施、新たなビジョン作成等。 2. 商店街リノベーション支援事業(支援事業者数:1団体):防犯カメラの設置。
5	スポーツツーリズム活性化事業	観光戦略部	13,903	6,951	スポーツコミッションによるマラソンイベントやセミナー開催等を行い、スポーツによる誘客促進を実施。
6	「マンガ県くまもと」構想推進事業	観光戦略部	21,220	10,610	本県ゆかりのマンガ・アニメ等の豊富なコンテンツを活用したプロモーションや情報発信により、本県の国内外からの認知度向上や誘客促進、さらには被災地支援など、県全体の活性化を推進。
7	くまもっと観光地域応援社発展事業	観光戦略部	3,254	1,627	観光客の多様なニーズに対応するため、県内2地区の観光協会等が取り組む地域資源を最大限に活用し、効果的・能率的な集客を図る「稼げる」観光地づくりを目的とした事業に対する支援を実施。
8	阿蘇観光未来創造ツアーモデル事業	観光戦略部	7,543	3,771	顔認証システム及びデジタルサイネージを活用した観光情報提供による周遊促進を行うとともに、取得した動態データに基づく分析・検証を実施(実施期間4か月)。
9	広域的な観光地域づくり支援事業	観光戦略部	30,000	15,000	複数市町村を活動区域とする広域的な観光地域づくり団体の活動を支援。当該団体においては、観光コンテンツの造成や観光地域づくりに資する各種取組を実施。
10	伝統文化等継承対策事業	企画振興部	8,890	4,445	県内の伝承芸能団体に対し、実態や課題に係る調査を実施。調査結果を踏まえ、市町村が助成を行っている伝承芸能団体に対し、県から追加で補助を実施。
11	伝統的工芸品販路開拓支援事業	観光戦略部	9,872	4,936	販路開拓及び担い手確保のため、新商品開発事業、ECセミナー、インターンシップ事業を実施。新商品開発では5組の工芸家とクリエイターがコラボし作品を制作。インターンシップ事業では2か所の工芸家が合計4名の後継者候補を決定。
			148,066	73,283	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和4年度増加分		令和4年度 評価	令和2年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
県又はスポーツコミッションが開催・支援するスポーツ大会の参加者数及び観戦者数とアニメコンテンツに係るイベント・ツアーの参加者数 0人(R1)⇒3,000人(R4)	観光戦略部	人	0	700	0	1,300	1,505	1,000	1,065					3,000	2,570	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成
職場ぐるみで健康づくりに取り組む企業・団体数 1,300団体(R1)⇒1,600団体(R4)	健康福祉部	団体	1,300	100	147	100	179	100	131					300	457	①目標値を達成	①目標値を達成
地域課題解決プロデューサー人材の活用件数 0件(R1) ⇒ 12件(R4)	企画振興部 観光戦略部	件	0	2	2	4	4	6	6					12	12	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 8

プロジェクト名(事業期間)	成長産業化に向けたくまもと型林業イノベーションプロジェクト(令和2年度～令和4年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	林業における省力化並びに生産性向上を図るためには、新たな技術の導入や普及が不可欠であることから、新技術を現場に実装し検証を行うとともに、新技術に触れる機会を創出することを通じて導入・普及を図る。また、森林整備の担い手確保対策の一環として、建設業など異業種との連携を後押しし、多様な林業担い手を確保する。さらに、国内外の需要拡大に向けて、地域住宅生産者グループの育成や輸出促進活動を実施する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	林業イノベーション現場実装推進事業	農林水産部	13,541	6,771	林業現場における新たな作業システム構築をするため、林業事業者等において新技術を導入し、その可能性と効果を実証(4事業者)。
2	林建・異業種連携推進対策事業	農林水産部	628	314	林業と建設業、造園業、観光業等の異業種との連携を強化し、多様な人材の林業分野へ参入を促進。(連携異業種:13社)
3	林建・異業種連携機械導入支援事業	農林水産部	3,560	1,780	異業種から林業への参入を促進するための林業機械導入を支援。
4	次世代林業・担い手強化支援事業	農林水産部	14,210	7,105	林業担い手不足を補うための省力化・労働強度軽減を図るため、林業現場における新技術導入や林業機械導入に係る支援を実施。
5	くまもと木の家づくり推進事業	農林水産部	2,985	1,493	地域材を利用した住宅建築やリフォームを推進し、木材使用量の拡大を図るため、地域の木材の特性を生かしたこだわりの家づくりに取り組む地域住宅生産者グループの普及啓発に係る各種取組みを支援(地域住宅生産者グループ6団体が行う産地視察や完成見学会等の活動を支援)。
6	くまもとの木材グローバルセールス支援事業	農林水産部	9,438	4,719	付加価値の高い製材品輸出を促進するため、和の空間をコンセプトとしたより品質の高い製材品輸出の可能性調査を実施(PR動画の作成、展示会出展、モデルルームを活用したニーズ調査等)。
			44,362	22,181	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和4年度増加分		令和4年度 評価	令和2年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業を通じた県内からの木材(製材品)輸出額の増加 256,000千円(H30) ⇒ 270,000千円(R4)	農林水産部	千円	256,000	4,000	41,134	5,000	11,046	5,000	-65,474					14,000	-13,294	④目標値の達成は 5割未満	④目標値の達成は 5割未満
事業を通じた林業分野における新技術の普及率(新技術を導入した事業者数/熊本県内の認定事業者数)の増加 0%(R1) ⇒ 16%(R4)	農林水産部	%	0.0	5.0	4.6	5.0	5.7	6.0	4.7					16.0	15	②目標値の7割以上を達成	②目標値の7割以上を達成
事業を通じた建設業等異業種との連携会社数の増加 16社(H30) ⇒ 50社(R4)	農林水産部	社/年	16	11	12	11	14	12	1					34	27	④目標値の達成は 5割未満	②目標値の7割以上を達成

推進 9

プロジェクト名(事業期間)	若者の雇用促進による熊本へ人の流れの創出プロジェクト(令和2年度～令和4年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	プロフェッショナル人材とのマッチングによる県内企業の魅力向上、県内外の若者及び県内の保護者に向けた県内企業の理解や県内で働くことの魅力等を知る機会の創出に取り組み、進学や就職時に県外へ流出した地方創生人材のUIJターン就職による還流促進や県内就職率の向上を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	熊本を「知る」・「会う」プロジェクト事業	商工労働部	13,820	6,910	ブライ企業をはじめとした県内企業と若者(新卒・第二新卒・UIJ・転職等幅広く対象)のマッチングを図るための企業説明会を実施(計5回、延べ138社、1091人参加)。
2	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	商工労働部	43,532	21,766	プロフェッショナル人材獲得を支援するため、466件の県内企業を訪問し、様々な経営課題に対するアドバイスや情報提供を行うことにより、副業人材を含む69件のプロフェッショナル人材の採用が決定。
3	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業 (拡充分=補助率10/10)	商工労働部	8,400	8,400	プロフェッショナル人材獲得を支援するため、466件の県内企業を訪問し、様々な経営課題に対するアドバイスや情報提供を行うことにより、副業人材を含む69件のプロフェッショナル人材の採用が決定。
4	建設産業新3K推進プロジェクト	土木部	31,483	15,741	・将来の建設産業担い手確保に向けて、主に高校生を対象とした建設産業ガイダンスや現場実習を実施するとともに、小中学生を対象とした魅力発信を展開。 ・高校生の資格取得や、企業の働き方改革・人材育成等に係る取組みを支援。
5	熊本を支える産業人材育成事業	教育庁	4,011	2,006	専門高校生インターンシップ充実事業では、330人の生徒が普段の学びにつながるの県内事業所79社(うち宿泊型1事業所)でインターンシップを実施。プロジェクト学習支援事業では、専門高校12校が24件の商品開発やイベント企画、地域の魅力発信等を実施。県内企業の理解促進事業では、生徒330人、教職員21人が県内事業所16社を訪問し、企業見学を通して県内事業所の魅力を発信。
6	新型コロナ対策雇用維持・確保支援事業	商工労働部	9,383	4,692	新しい働き方として注目される在籍型出向をはじめとした副業・兼業について、県内企業や労働者に対しその意義やメリットなどをSNS等により周知するとともに、県内企業への社会保険労務士派遣(10社)及び企業経営者向けのセミナーを実施(19人参加)。
			110,629	59,514	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和4年度増加分		令和4年度 評価	令和2年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値										
熊本県UIJターン就職支援センターを活用して熊本県内に就職した人数 0人(R1) ⇒ 300人(R4)	商工労働部	人	0	80	72	100	98	120	117	/	/	/	/	300	287	②目標値の7割以上を達成	②目標値の7割以上を達成
地域企業に対する副業・兼業も含めた人材マッチング件数 15件/年(R1) ⇒ 60件/3年(R4)	商工労働部	件	15	15	39	20	89	25	69	/	/	/	/	60	197	①目標値を達成	①目標値を達成
事業を通じた専門高校生の県内就職率の増加 59.7%(H30) ⇒ 63.0%(R4)	教育庁	%	59.7	0.9	3.2	1.1	3.3	1.3	4.6	/	/	/	/	3.3	11.1	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 10

プロジェクト名(事業期間)	熊本版 第4次産業革命に向けた先端技術導入を軸とした地場産業成長プロジェクト(令和2年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	県内企業の先端技術(= IoT、AI、ロボット等を中心とした第4次産業革命技術)導入を支援することで、生産性の向上による産業界の人手不足解消や、収益性の向上による経済的波及効果の創出による地域経済の活性化を実現する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	第4次産業革命推進事業	商工労働部	49,968	24,984	・地域の事業者等への高い経済的効果が期待できる地域経済牽引事業のうち、AI・IoTを活用した次世代水産養殖システムの協創、機械学習手法を用いた検査AI化の開発等計4件に対して、必要な設備投資及び商品開発費を支援。 ・普及啓発のためのセミナーやITベンダーとのマッチング相談会を開催したほか、専門家による現場改善等の伴走支援を実施するなど、各企業の状況に応じて第四次産業革命技術の導入に係る技術的支援を実施。また、財政的な支援として、IoT等導入計画、デジタル機器の整備費等に係る補助を実施。
2	デジタル実装支援にかかるデジタルものづくり中核人材育成事業	商工労働部	7,103	3,551	デジタル実装技術の導入・運用を担う中核技術者(中堅職員、現場リーダー、工場長等)の人材育成を目的に技術講習会や人材育成研修等を実施(人材研修等:29回実施、参加者延べ434名)。
3	県外IT企業・コンテンツ関連企業等ネットワーク構築事業	商工労働部	53,458	26,729	本県の優れた立地環境等を企業向けにPRするセミナーの開催や地域資源を有効活用した視察ツアーの受入れ、企業間の交流の場の創出等を通じた企業誘致を行うとともに、情報発信ツールとしてITプラットフォーム(サイト)を作成し、紹介記事・動画等を掲載。また、市町村の課題解決のため、県内外の企業と協働した検討の実施や、学生を対象としたビジネスコンテストによる提案を受けるなど、地域経済の活性化と関与企業、学生等との繋がりを創出。
4	DX導入モデル企業支援事業	商工労働部	7,996	3,998	DX(IoT、AI、ロボット、5Gなど)の導入等に積極的な企業14社に伴走型の支援を実施し、DX導入モデル企業を複数生み出し水平展開(モデル企業2社の事例紹介を含むDX導入セミナー等を実施)することで、県内企業へのDXの導入および定着を推進。
			118,525	59,262	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和6年度増加分		令和4年度 評価	令和2年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額 0円(R1) ⇒ 60,000千円(R6)	商工労働部	千円	0	0	88,918	15,000	246,470	15,000	集計中 (R5.12)	15,000	/	15,000	/	60,000	/	⑤実績値集計中	/
IoT、AI等の先端技術を活用した県内企業の新たな取組件数 0件(R1) ⇒ 87件(R6)	商工労働部	件	0	5	7	16	24	20	26	22	/	24	/	87	/	①目標値を達成	/
県内企業と県外企業を繋ぐITプラットフォームの登録企業数 0社(R1) ⇒ 140社(R6)	商工労働部	社	0	20	30	40	211	40	94	20	/	20	/	140	/	①目標値を達成	/

推進 11

プロジェクト名(事業期間)	更なる高みへ！「農業」を軸としたビジネスモデル展開プロジェクト(令和2年度～令和4年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	前身事業で開発した商品を更にグレードアップさせて新たな市場開拓につなげたり、これまで支援してきた地域とは別の地域や視点で実施する、新規性や地域経済への波及効果の高い取組みについて支援を行うことで、本県の強みである「農業」を軸として、熊本の創造的復興と地方創生を加速する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	地域未来モデル事業(農林水産分野)	農林水産部	27,160	13,580	地域経済牽引事業者による商品開発・改良費及び加工機械設備等を2件支援。
2	異業種連携！6次産業化レベルアップ事業	農林水産部	10,727	5,364	農産加工事業者への加工品ブラッシュアップセミナー等を開催。
3	6次産業化総合支援強化事業	農林水産部	1,383	691	県産農産物を活用した新商品開発への支援やブラッシュアップ・販路開拓に係る個別支援等を実施。
			39,270	19,635	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和4年度増加分		令和4年度 評価	令和2年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業実施による支援事業者の新規雇用者数 0人(R1) ⇒ 35人(R4)	農林水産部	人	0	0	0	15	82	20	30					35	112	①目標値を達成	①目標値を達成
事業実施による観光拠点への来客数 0人(R1) ⇒ 800,000人(R4)	農林水産部	人	0	0	0	300,000	181,213	500,000	210,562					800,000	391,775	④目標値の達成は 5割未満	④目標値の達成は 5割未満
地域経済牽引事業における支援の対象となる設備投資に 対する支援事業者と支援事業者との取引額が多い過半の 域内の事業者の売上額、取引額又は給与支払額の合計 額の増加額 0千円(R1) ⇒ 1,800,000千円(R4)	農林水産部	千円	0	0	0	800,000	1,764,995	1,000,000	4,472,872					1,800,000	6,237,867	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 12

プロジェクト名(事業期間)	未来へつなげるくまもと農業の人材確保・育成プロジェクト(令和2年度～令和4年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	本県の強みである農業の持続的、安定的な発展のため、くまもと農業を担う人財の確保・育成を図るとともに、熊本への人の流れを加速化させることで「競争力のあるくまもと農業」の実現を目指す。その実現に向け、円滑な経営継承の支援体制構築や、就農を目指す者のすそ野拡大など、将来にわたって新規就農者(人財)を安定的に確保する取組みを推進する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	くまもと農のひとづくり事業	農林水産部	21,755	10,878	農業者の能力等の向上のため、県内の意欲ある農業者等を対象とした学びの場として、農業研究センター、県立大学等、様々な機関が連携し、農業技術や農福連携等に関する講座を開催(43講座、958人受講)。さらに、農業経営者を育成するため、就農5年目以上の農家等を対象に、全国の優良経営農家等を講師として招き、経営理念や販売戦略等を学ぶ講座を開催(受講生12人、講座数10回、個別相談3回)。
2	熊本型新規就農総合支援事業	農林水産部	54,626	27,313	就農希望者が就農する前に行う、農業実践研修を充実させるため、研修受け入れ農家などを対象にした資質向上を図る研修会や、認定農業機関の研修受け入れ体制整備を支援し、研修生58人を指導。
3	くまもと農業の継承支援事業	農林水産部	33,108	16,554	令和3年6月に設立した「くまもと農業経営継承支援センター」を中心に、移譲希望者の掘り起こしや広報啓発、マッチング交流会等を積極的に開催し、11件のマッチングを締結。
4	ひと・うし・しごとづくりステップアップ事業	農林水産部	15,672	7,836	地域において空き牛舎などの継承により新規就農者が低コストで就農できる体制構築を図るため、新規就農時における空き牛舎の補改修や家畜導入等に係る初年度経費を支援。また、農業団体等による研修体制を構築するため、研修用家畜の導入を支援。肉用牛繁殖経営1戸において、地域の空き牛舎継承による新規就農が実現。
			125,161	62,580	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和4年度増加分		令和4年度 評価	令和2年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値										
事業を通じた新規就農者数 0人(R1) ⇒ 250人(R4)	農林水産部	人	0	60	72	80	120	110	101					250	293	②目標値の7割以上を達成	①目標値を達成
事業を通じた経営継承マッチング締結件数 0件(R1) ⇒ 30件(R4)	農林水産部	件	0	5	5	10	18	15	11					30	34	②目標値の7割以上を達成	①目標値を達成
県新規就農支援センターの就農相談延べ件数 539件(R1) ⇒ 694件(R4)	農林水産部	件	539	25	348	30	181	100	211					155	740	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 13

プロジェクト名(事業期間)	球磨川流域の豊かな恵みを生かしたグリーンニューディール促進プロジェクト(令和3年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	令和2年7月豪雨で被災した球磨川流域等について、醸造食品産業の生産性向上やブランド再構築による地域産業の活性化、豊かな自然、文化等の地域資源を活用した観光振興等による交流人口の拡大、防災・治水対策等の専門教育の充実による人材の育成、災害弱者の避難支援体制の構築や豪雨災害の記録の収集・発信による地域防災力の強化に一体的に取り組み、創造的復興を強力に推進し、持続可能な地域の実現を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	県南被災地域の食品加工産業への支援事業	商工労働部	11,420	5,710	被災後から継続した製造施設の衛生環境復旧支援により一部製品の製造が再開し、復旧した商品が県や全国の味噌・醤油の鑑評会等で上位に入賞。さらに、被災蔵元の新商品開発等に向け、各蔵元から分離・保存した蔵付き微生物の中から優良菌株を選抜し、試験醸造を実施。
2	球磨焼酎リブランディング事業	観光戦略部	38,794	19,397	球磨焼酎を持続可能な地域産品としてブランド再興を図るため、蔵元が実施する商品開発や国内外の酒類コンペティション等への出展、球磨焼酎酒造組合等が取り組む販路拡大等の取組みを支援。また、球磨焼酎の魅力を発信するため、飲食店と連携した販売促進イベントを実施。
3	コロナ禍における観光持続化事業 (観光ビジネスチャレンジ支援事業)	観光戦略部	5,000	2,500	7月豪雨災害被災地を対象に、新たな観光商品・メニュー開発を行う民間事業者等の取組みを支援。
4	地域づくりチャレンジ推進事業 (豪雨からの復興応援プロジェクト推進補助金事業)	企画振興部	37,903	18,952	豪雨災害からの復興に向けて、被災地域における交流人口減少に歯止めをかけるため、自然・食・文化等の地域資源を生かしたPRイベントの開催や地域の魅力発信等の取組み13件を支援。
5	自然公園等施設リニューアル事業 (九州自然歩道利用促進対策事業)	環境生活部	6,820	3,410	人吉球磨地域における令和2年7月豪雨からの創造的復興に向け、九州自然歩道の利用者数の増加を通じた地域の交流人口の増加を目的とし、九州自然歩道利用促進対策事業の一環として人吉球磨地域における九州自然歩道を軸としたツアーコンテンツの企画及びモニターツアーを実施。
6	Kumaラボ(観光物産分野)先行取組運営事業	観光戦略部	8,997	4,499	豪雨被災地域における地域課題解決を図り、創造的復興につなげるため、具体的な事業の企画及び実証を実施。
7	森林サービス産業創出支援事業	農林水産部	7,884	3,942	人吉球磨地域において森林資源・森林空間を活用した「森林サービス産業」を創出するため、「くまむら森林サービス産業創出協議会」及び「人吉球磨森林サービス産業協議会」の活動を支援。
8	地域資源とのコラボ推進事業	教育庁	1,559	779	防災・治水対策についての学びを深めるために、熊本県立大学と「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会プロジェクト」を展開。また、人吉西小学校の生徒に防災教室を実施。さらに、伝統建築の施工技術についての学びを深め、球磨人吉地域の伝統建築物を未来へつなぐ人材の育成を図るために、伝統建築の世界で高度な技術・技能を持った宮大工等から直接指導等を受ける機会を月1回(計12回)実施。
9	令和2年7月豪雨デジタルアーカイブ事業	知事公室	31,149	15,574	令和2年7月豪雨に関連する資料の収集やデジタル化を行い、アーカイブサイトにて7万点を公開。
			149,526	74,763	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和3年度～令和5年度増加分		令和4年度 評価	令和3年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
球磨焼酎の出荷量 11,555kℓ(R1) ⇒ 15,022kℓ(R5)	観光戦略部	kℓ	11,555	578	-927	1,156	-969	3,467						5,201		④目標値の達成は5割未満	
人吉・球磨地域の延べ入込客数 1,115,058人(R2) ⇒ 2,631,058人(R5)	観光戦略部	人	1,115,058	300,000	-94,888	520,000	集計中 (R5.12)	696,000						1,516,000		⑤実績値集計中	
外部人材(高度な測量技術者、宮大工等)と連携した教育活動の実施数 0回(R2) ⇒ 27回(R5)	教育庁	回	0	6	8	9	12	12						27		①目標値を達成	
アーカイブ化のための資料収集件数 0件(R1) ⇒ 18万件(R5)	知事公室	万件	0	8	5	6	3	4						18		③目標値の5割以上を達成	

推進 14

プロジェクト名(事業期間)	くまもとオープンイノベーション推進プロジェクト(令和3年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	県内企業を中心とした産学官連携によるオープンイノベーションの促進を図ることで、ウイズ・アフターコロナ時代の新たな社会環境にも対応したビジネスや本県の「強みとなる産業」の創出につなげ、地方創生の実現を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	くまもとオープンイノベーション推進事業	商工労働部	25,186	12,593	熊本県の内外にネットワークを有し、技術の動向や有望性を理解する人材をコーディネーターとして配置することで県内中小企業を中心とした連携体の構築や事業化プラン策定、販路開拓を支援。また、県内企業が海外展開、連携を目的として行う事業に対して、専門知識を有するアドバイザーを配置し、伴走支援を実施。
2	くまもとクロス支援事業	商工労働部	24,692	12,346	中小企業等が他企業、大学等と連携して実施する革新的な製品開発を目指した研究開発等について、その事業の初期段階における産学官連携等の模索、連携体による新たな知見・ノウハウの創出等を、くまもとオープンイノベーション推進事業と連携しつつ、資金面から支援を実施。
			49,878	24,939	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和3年度～令和5年度増加分		令和4年度 評価	令和3年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値										
プロジェクトにおける共同研究等の件数 0件(R2) ⇒ 9件(R5)	商工労働部	件	0	3	6	3	7	3	/	/	/	/	/	9	/	①目標値を達成	/
戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)等の採 択件数 0件(R2) ⇒ 5件(R5)	商工労働部	件	0	0	0	2	1	3	/	/	/	/	/	5	/	③目標値の5割以 上を達成	/
プロジェクトにより課題解決につながった件数 0件(R2) ⇒ 150件(R5)	商工労働部	件	0	25	27	50	75	75	/	/	/	/	/	150	/	①目標値を達成	/

推進 15

プロジェクト名(事業期間)	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト(令和3年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	これまで進めてきた草原の保全・維持の取組みを、SDGsを原動力に、「環境」・「経済」・「社会」の3つの側面から統合的に深化させながら、「環境の保全」「農畜産業の振興」に加え、「関係人口の増加」「交流人口の増加」「移住定住の促進」「シビックプライドの醸成」を図り、阿蘇地域の持続的な発展を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	阿蘇草原再生事業	企画振興部	1,400	700	中松牧野(南阿蘇村)と沢津野牧野(南阿蘇村)における野焼き作業に必要な輪地切り、灌木等の処理を行い、野焼きを実施。
2	持続可能な草原維持システム構築推進事業	企画振興部	8,671	4,336	・草原維持活動に取り組む企業・団体を支援する「阿蘇草原応援企業サポーター認証制度」を創設し、4団体を認定。 ・赤外線カメラ付きドローンや音声案内ドローンを活用し、野焼きの作業省力化に向けた検討を実施。
3	熊本型放牧高度化支援事業	農林水産部	18,270	9,135	阿蘇地域以外からの繁殖牛を受け入れる広域放牧、放牧地・草地の整備(牧柵整備、給水施設整備、肥料散布等)を41事業主体(8市町村、1団体)で実施。また、繁殖牛の導入についても実施(令和4年度:41頭)。
4	世界農業遺産推進事業 (阿蘇GIAHSを活用した草原の維持・再生加速化推進事業)	農林水産部	5,951	2,976	草資源を活用した農産品の認知度向上・販売促進のため、阿蘇地域の農産物を活用した料理レシピを開発し、料理レシピ投稿サイト等で情報発信を実施。また、阿蘇地域世界農業遺産の価値を国内外に普及啓発するため、学習資料(動画)及び海外向けPRパンフレット等を作成し、SNSを活用した情報発信を実施。
5	世界文化遺産登録推進事業 (阿蘇世界文化遺産登録推進事業)	企画振興部	56,848	28,424	・阿蘇郡市内の中学・高校をモデル的に選定し、世界文化遺産登録に向けた理解醸成等に資する学習を実施。 ・阿蘇の世界文化遺産としての価値の明確化のため、学術委員会を開催し、顕著な普遍的価値及び世界遺産の資産範囲等について学術検討を実施。 ・国内外の有識者等と地元関係者との意見交換等を通じて地域との交流及び学術検討を実施。 ・阿蘇の世界文化遺産登録への取り組みの認知度向上のため、リーフレットの作成やパネル展示、地元地域及び東京でのシンポジウム(オンライン同時配信)を実施。 ・若手研究者による阿蘇に関する多分野の研究を募集し、成果報告会を実施。 ・阿蘇の世界文化遺産としての価値を根拠づけるための調査事業を実施。
			91,140	45,570	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和3年度～令和5年度増加分		令和4年度 評価	令和3年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
草原再生面積(野焼き放棄地における再開地面積及び未利用牧野における放牧再開面積) 422ha(R1) → 982ha(R5)	農林水産部	ha	422	250	33	140	49	170						560		④目標値の達成は5割未満	
阿蘇草原応援企業サポーター認証企業数 0社(R1) → 30社(R5)	企画振興部	社	0	5	20	10	4	15						30		④目標値の達成は5割未満	
草資源を活用した農産品に係る”食の体験”イベント参加者数 0人(R1) → 500人(R5)	農林水産部	人	0	100	160	200	318	200						500		①目標値を達成	
阿蘇地域が「世界文化遺産登録」を目指していることについての地元住民等の認知度 20%(R2) → 50%(R5)	企画振興部	%	20.0	5.0	5.0	15.0	15.0	10.0						30.0		①目標値を達成	

推進 16

プロジェクト名(事業期間)	地域の農林水産業を元気にくまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト(令和3年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	豪雨で被災した県南地域の創造的復興及び地域の活性化推進のため、地域経済を牽引する「人材づくりと体制づくり」を推進するとともに、地域農産物を活用する地域事業者が行う「売れるモノづくり」や「強靱な販路づくり」を支援することで、県南を支える農林水産業の持続的発展を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	地域未来モデル事業 (フードバレー地域農産物活用拠点強化事業)	農林水産部	168,211	84,106	令和2年7月豪雨により被災した県南地域の創造的復興及び地域の活性化のため、地域経済牽引事業者において、高機能性穀物のスティック包装設備導入(1件)、無洗米装置及び少量包装設備導入(1件)、ビーツの洗浄・貯蔵等施設新設及び保冷貯蔵庫等設備導入(1件)を支援。
2	台湾輸出推進事業	観光戦略部	7,293	3,646	県産農林水産物等の輸出促進及び八代港活用の可能性を調査するため、八代港から台湾への新規航路を活用した船便による輸送試験及び現地フェアを実施。
			175,504	87,752	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和3年度～令和5年度増加分		令和4年度 評価	令和3年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
当事業の支援により施設整備等を行った地域経済牽引事業者及びその地域経済牽引事業者との取引額が多い促進区域内事業者の売上合計額の増加額 0円(R2) → 436,000千円(R5)	農林水産部	千円	0	0	0	109,000	473,969	327,000						436,000		①目標値を達成	
地域経済牽引事業者及び地域事業者による新規取引(契約)件数 0件(R2) → 120件(R5)	農林水産部	件	0	40	57	40	49	40						120		①目標値を達成	
地域経済牽引事業者及び地域事業者による海外企業との新規取引(契約)件数 0件(R2) → 7件(R5)	農林水産部	件	0	0	0	3	1	4						7		④目標値の達成は5割未満	

推進 17

プロジェクト名(事業期間)	くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト(令和3年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	デジタルの視点を取り入れたマーケティング手法の確立や、周遊性・滞在性の更なる向上、民間活力を活用した魅力的な観光施設の整備といった、スマートツーリズムの仕組みづくりと地域の魅力向上・観光の高質化に取り組み、地域経済の活性化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	デジタルマーケティング事業	観光戦略部	48,265	24,133	デジタルデータを活用し、旅行者の趣向に合わせた情報発信を実施。
2	スマート観光交通体系構築推進事業	観光戦略部	43,000	21,500	熊本型観光MaaSの実現に向けて、阿蘇地区にて観光周遊バス・自転車等を組み合わせた実証事業を実施したほか、旅行者向けWEBサイトを構築。
3	新型コロナウイルス感染症からの観光経済、 復旧復興事業 (ワーケーション導入支援事業)	観光戦略部	5,163	2,582	人吉球磨地域におけるワーケーションモデルコースを策定し、セールスツールとして、企業向けのパンフレットを作成。併せて、昨年度策定したコースについて、首都圏を中心にセールスを行い、110人がワーケーションを実施。
4	教育旅行誘致推進事業 (プログラムコーディネーター事業)	観光戦略部	8,492	4,246	教育旅行のプログラムコーディネーターを配置し、教育旅行素材の情報収集やプログラム造成のアドバイス、学校や旅行会社等のニーズと地元のマッチング、団体旅行、教育旅行等関係者への情報提供を実施。
5	域内周遊・滞在促進のための観光地域づくり 事業	観光戦略部	27,345	13,673	阿蘇地域において、各観光資源におけるハード・ソフト整備を支援し、満足度や消費額の高い高付加価値化された観光地を面的に形成することで、誘客を促進。
6	国立公園満喫プロジェクト推進事業(雲仙天 草国立公園におけるソフト面での受入体制整 備分)	環境生活部	12,027	6,014	雲仙天草国立公園における、国内外からの利用者数の増加及び滞在時間の増加を図るため、国立公園ガイドの育成、新たな体験プログラムの造成、本公園の魅力発信に繋がるプロモーションツールを作成。
			144,293	72,146	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和3年度～令和5年度増加分		令和4年度 評価	令和3年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
観光客への現地調査における、本県観光プロモーションコンテンツによる本県観光客への上乗せ数 0人(R2) → 276,800人(R5)	観光戦略部	人	0	80,000	43,438	98,400	167,094	98,400						276,800		①目標値を達成	
事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設における地域在住者雇用者数 0人(R2) ⇒ 14人(R5)	観光戦略部	人	0	3	1	5	5	6						14		①目標値を達成	
事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設をめぐる旅行商品プログラムの造成数 0本(R2) ⇒ 15本(R5)	観光戦略部	本	0	3	7	5	5	7						15		①目標値を達成	

推進 18

プロジェクト名(事業期間)	「グリーンエボリューション(緑の進化)」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト(令和4年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	「環境にやさしい農業の高度化」と「稼げる農業」の両立により、持続可能な農林水産業への進化「グリーンエボリューション」を実現するとともに、地産地消による消費意欲の向上と新たな販路開拓等による競争力の強化により、地域における経済の自立的好循環を促し、SDGsの理念に沿った魅力的で持続可能な地域づくりを行う。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	商工会商工会議所・商工会連合会補助事業 (08販路開拓支援事業)	商工労働部	10,000	5,000	熊本県商工会連合会及び熊本商工会議所による県内中小企業者の売上げ向上を目的とした販路開拓の取組みを支援。 なお、本取組みにより、両団体を通じて、国内向け販路開拓として17事業者を、海外向け販路開拓として10事業者をそれぞれ支援。
2	首都圏等県産品販路拡大事業	観光戦略部	22,151	11,075	リアルでもオンラインでも選ばれる熊本県産品を目指し、大都市圏での新規販路開拓のための商談会及び商談スキル養成セミナーを開催し、大阪梅田エリア6商業施設約120店舗において熊本のお酒や食材を使ったメニューを提供。また、首都圏等大都市圏での販路開拓のため、百貨店等催事への出展(57回)、県産品事業者との面談及び小売業者への斡旋、福岡空港売店内の県産品販売箇所の新規開拓を実施。
3	くまもと地産地消革新プロジェクト事業	農林水産部	15,868	7,934	地産地消の理解促進を図るため、新たにSNSアカウントを作成しHPと連動した情報発信の強化を行ったことにより、HP閲覧数が38,000PV増加。
4	熊本型みどりの食料システム戦略推進事業 (グリーンエボリューション推進事業)	農林水産部	69,382	34,691	有機農業技術確立のため、有機農業栽培技術の現地調査や研修会の開催、病虫害防除技術の実証を支援。また、ゼロカーボン技術確立のため、新技術等の開発や炭素貯留効果の解明に向けた研究の実施、国産濃厚飼料生産のための現地実証、高品質堆肥の生産に係る取組み等を支援。
			117,401	58,700	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和4年度～令和6年度増加分		令和4年度 評価	令和4年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
有機農業に取り組む農業者数 300人(R3) ⇒ 375人(R6)	農林水産部	人	300	25	30	25		25						75		①目標値を達成	
県地産地消ホームページの閲覧数 43,000PV(R2) ⇒ 48,200PV(R6)	農林水産部	PV	43,000	4,300	38,000	400		500						5,200		①目標値を達成	
伴走型支援を行った中小企業者のうち、支援を実施する前年度から、経常利益から年率1%以上向上した中小企業者数 0社(R2) ⇒ 48社(R6)	商工労働部	社	0	0	12	16		32						48		①目標値を達成	

推進 19

プロジェクト名(事業期間)	産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト(令和4年度～令和8年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	阿蘇くまもと空港周辺地域を拠点に、熊本の強みであるライフサイエンス分野(医療、健康、農業等)を中心とした新たな産業の創出を目指す「UXプロジェクト」を推進する。併せて、空港における国際航空貨物輸送の実現に向けた取組みや2023年3月に供用開始した新ターミナルビルのPR等を展開し、空港の機能強化や周辺地域の拠点性向上、さらには将来にわたる本県の持続的な成長につなげる。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	阿蘇くまもと空港創造的復興推進事業	企画振興部	39,730	19,865	阿蘇くまもと空港での国際航空貨物の恒常輸送を実現するため、TSMC進出による貨物需要分析や空港通関体制改善の取組策などをとりまとめる調査研究業務を実施。空港周辺地域の発展に欠かせない交通結節点である空港について更なる利用促進を図るため、R5.3.23に供用開始された新旅客ターミナルビルにおける機能強化、熊本地震からの創造的復興の進捗状況を県内外に広くPRを実施。
2	熊本空港周辺地域における産業振興創出事業	商工労働部	115,347	57,674	交流機会を提供する各種イベントの開催や、社会課題解決に繋がる実証実験4件の支援、県・熊本国際空港(株)・東海大学による連携協定締結に加え、Pre-UXイノベーションハブを開設後800名以上が施設を利用し350者を超える企業・個人が会員登録するなど、プレーヤー等の集積・交流を推進。
			155,077	77,539	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和4年度～令和8年度増加分		令和4年度 評価	令和4年度～令和8年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値										
UXプロジェクトの取組みに係る企業等のマッチング・協業件数 1件 ⇒ 26件(R8)	商工労働部	件	1	3	6	4	/	5	/	6	/	7	/	25	/	①目標値を達成	/
UXプロジェクトの取組みに係る企業・団体等の参画数 48者 ⇒ 123者(R8)	商工労働部	者	48	10	261	15	/	15	/	15	/	20	/	75	/	①目標値を達成	/
阿蘇くまもと空港の利用者数 104万人 ⇒ 467万人(R8)	企画振興部	万人	104	117	160	117	/	117	/	6	/	6	/	363	/	①目標値を達成	/

推進 20

プロジェクト名(事業期間)	世界のマーケットへチャレンジ！新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト(令和4年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	県内における自然共生型産業の売上額等を更に拡大するとともに、海外への積極的な販路開拓・拡大など新たな事業展開を図るため、「新規事業創出、既存事業イノベーションへの支援」、「デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援」、「輸出障壁への対応に係る支援」の3つの柱で、本県におけるイノベーションを活性化させるエコシステムの形成を推進し、地域経済を活性化させる。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	地域未来投資促進事業(自然共生型(投資))	商工労働部	66,932	33,466	新たな方式による未来型農業の実現や、高付加価値なヘルスケア商品の生産、AIを活用した高品質で安心安全な工場など、地域の事業者等への経済波及効果が期待できる地域経済牽引事業に取り組む県内企業の設備整備等に対して支援を実施。
2	熊本空港周辺地域における産業振興創出事業	商工労働部	14,995	7,498	県内中核企業がテーマを定め、求める技術・スキームを持つ県内外の外部機関と協業することで、事業化に向けたビジネスモデルの構築を行い、研究開発やアイデアの事業化につながる実証実験を実施。
3	県産農林水産物等輸出推進総合支援事業(輸出ソリューション支援事業)	観光戦略部	2,991	1,496	新たな市場への輸出拡大に向け、輸出先国の規制対応に必要な取り組み(認証取得、成分分析、残留農薬検査、先進地研修等)を支援。
4	輸出マーケットイン販路開拓事業(県産品訪米市場流通調査・販路開拓事業)	観光戦略部	3,980	1,990	北米(米国カリフォルニア州、ニューヨーク州、ハワイ州)への販路拡大を図るため、当該地域における輸入規制や製造施設登録(FDA登録)について調査を実施し、FDA登録マニュアル及び輸出に向けた留意点(ガイド)を作成。
			88,898	44,449	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和4年度～令和6年度増加分		令和4年度 評価	令和4年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額 0千円(R3) ⇒ 426,300千円(R6)	商工労働部	千円	0	182,700	集計中 (R5.12)	121,800	/	121,800	/	/	/	/	/	426,300	/	⑤実績値集計中	/
オープンイノベーションプログラムによる県内企業と外部機関との協業数 0件(R3) ⇒ 9件(R6)	商工労働部	件	0	3	7	3	/	3	/	/	/	/	/	9	/	①目標値を達成	/
規制市場へのチャレンジによる県内事業者と海外市場との新規取引件数 0件(R3) ⇒ 27件(R6)	観光戦略部	件	0	9	7	9	/	9	/	/	/	/	/	27	/	②目標値の7割以上を達成	/

推進 21

プロジェクト名(事業期間)	「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト(令和4年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	熊本地震、令和2年7月豪雨災害及び新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ中小企業者の事業継続と発展を推進することにより、企業の魅力向上を図るとともに、県内の優秀な若者の育成・地元定着、さらにはテレワークを中心とする多様な働き方と外国人受け入れのための環境整備による人材確保を図り、県全体の経済の活性化を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	組織化指導費補助事業(協同組合等DX推進事業)	商工労働部	4,620	2,310	①中小組合等のDX対応を目的とした講習会を実施。(計6回、延べ78名受講)②販路開拓を目的にSNS向けデジタルコンテンツ作成及びSNS操作研修に係る経費の一部を補助(2団体)。
2	中小企業者事業再建・発展支援事業	商工労働部	78,700	39,350	①中小企業者の経営課題の解決のための専門家派遣(専門家派遣860者)及び②中小企業者のデジタル化による生産性向上を目的に、専門家派遣、各種セミナー開催等を実施(専門家派遣54者、EC個別相談会161者、DX・デジタルセミナー203者、団体等講習会177者、支援策セミナー160者)。
3	外国人材活躍促進支援事業	商工労働部	11,187	5,593	外国人材の適正な受け入れを支援するため、外国人材受入企業の担当者等を対象にやさしい日本語の活用や異文化理解に関するセミナーを開催(県内5か所各2回)、96事業者(151名)が参加。また、熊本で働く魅力をPRするため動画及びパンフレットの作成を実施。
4	テレワーク推進体制強化事業	商工労働部	5,913	2,956	テレワーク等の時間や場所にとらわれない多様な働き方の推進を目的として、県内のコワーキングスペースを活用した体験会や、セミナー及び相談会、オンラインでのスキルアップ講座を実施(セミナー及び相談会197人・スキルアップ講座:15人参加)。
5	県立高校魅力化きらめきプラン	教育庁	24,287	12,144	県立高校の魅力化と企業で働く人材育成を後押しするため、SNSの開設やパンフレット制作を実施。また企業等と連携した取組に意欲的な学校を支援。
			124,707	62,353	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和4年度～令和6年度増加分		令和4年度 評価	令和4年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業を活用した事業者のうち、前年と比較して財務状況が好転した事業者数 0社(R3) ⇒ 576社(R6)	商工労働部	社	0	192	集計中 (R6頃)	192	/	192	/	/	/	/	/	576	/	⑤実績値集計中	/
DX(デジタル化)のために専門家を活用(派遣)した事業者数 0社(R3) ⇒ 1,800社(R6)	商工労働部	社	0	600	755	600	/	600	/	/	/	/	/	1,800	/	①目標値を達成	/
県立高校の連携先企業等の数 18者(R3) ⇒ 33者(R6)	教育庁	者	18	5	63	5	/	5	/	/	/	/	/	15	/	①目標値を達成	/
外国人雇用事業者数 2,910社(R3) ⇒ 3,120社(R6)	商工労働部	社	2,910	50	279	70	/	90	/	/	/	/	/	210	/	①目標値を達成	/

推進 22

プロジェクト名(事業期間)	くまもとDXグランドデザイン推進プロジェクト(令和4年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	DX(デジタルトランスフォーメーション)を熊本の将来の発展につなげるため、産学官が連携してDXを推進する共通の羅針盤となる「くまもとDXグランドデザイン」を令和3年度に策定。このグランドデザインの実現を進めるため、推進体制を整備し、取組事例を蓄積・横展開することで、県内におけるDXの機運醸成に取り組む。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	くまもとDXグランドデザイン推進事業	企画振興部	39,153	19,577	くまもとDXグランドデザインの実現に向け、産学官からなる「くまもとDX推進コンソーシアム」を設立し、R4年度末時点で県内外から371団体が入会。イベントやセミナーを通じたDXについての理解向上・機運醸成の取組みの他、大学等と連携したDX人材育成プロジェクトや、公募型実証事業の実施によりDX事例を創出。
2	デコポン管理DX推進事業	農林水産部	902	451	デコポン貯蔵管理のデータを収集し、貯蔵管理の暫定版マニュアルを作成。
3	次世代型果樹園モデル実証事業	農林水産部	64	32	省力化栽培技術とスマート機器等装備による労働生産性の高い次世代型果樹園モデルを実証するために、2事業主体(ナシモデル、クリモデル)の取組みを支援。
4	花き管理DX推進事業	農林水産部	4,783	2,392	宿根カスミソウにおける計画出荷及び品質の高位平準化実現のため、県内10箇所の篤農家の生産ほ場にセンシング機器を設置し、栽培管理データの収集及び分析を実施。
5	「ゆうべに」ブランド推進・出荷体制構築事業	農林水産部	2,056	1,028	いちご「ゆうべに」の摘花作業及び集出荷作業の効率化のため、摘花作業ポイント解説動画の作成と荷受予約アプリ及び自動選果機の現地実証を実施。
			46,959	23,479	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和4年度～令和6年度増加分		令和4年度 評価	令和4年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値										
DXグランドデザインに基づく取組みプロジェクトの数 0件 ⇒ 36件(R6)	企画振興部	件	0	5	8	10	/	15	/	/	/	/	/	30	/	①目標値を達成	/
コンソーシアム参加団体数 0団体 ⇒ 100団体(R6)	企画振興部	団体	0	10	371	40	/	50	/	/	/	/	/	100	/	①目標値を達成	/
イチゴ「ゆうべに」の作付面積 84.4ha ⇒ 100ha(R6)	農林水産部	ha	84.4	5.6	6.1	5.0	/	5.0	/	/	/	/	/	15.6	/	①目標値を達成	/
実証経営体におけるデコポンの出荷率 70% ⇒ 80%(R6)	農林水産部	%	70	2	10	3	/	5	/	/	/	/	/	10	/	①目標値を達成	/

推進 23

プロジェクト名(事業期間)	国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト(令和4年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	2019年の大規模国際スポーツ大会のレガシーを引き継ぎ、更に積み重ねることで、交流人口拡大と地域活性化を図るため、本県が強みを持つバドミントンの国際大会の定期的な開催を目指す。さらに、社会の変容に応じた新たな観光スタイルに対応し、県内周遊促進や新たな交流・関係人口の創出を図ることで、国際スポーツ大会を起爆剤とした持続的な経済効果を生み出す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	国際バドミントン大会誘致促進事業	観光戦略部	4,500	2,250	熊本県・熊本市が連携して、バドミントン国際大会(Super500)を誘致し、開催に向けた準備を実施。また、機運醸成のための情報発信や日本バドミントン代表チームの本県でのキャンプ実施に合わせ、世界トップクラスの選手の練習を間近で観覧できる場を提供。
2	新たな旅のスタイル促進事業(コーディネーター)	観光戦略部	16,617	8,308	「新たな旅のスタイル」や「新たな働き方のスタイル」であるワーケーションを推進するため、県内関係者のネットワーク化を図るとともに、地域にアドバイザーを派遣して、コーディネーターの養成及びワーケーション素材の磨き上げを実施。
			21,117	10,558	

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和4年度～令和6年度増加分		令和4年度 評価	令和4年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
国際大会の観客数 0人(R3) ⇒ 20,000人(R6)	観光戦略部	人	0	500	1,534	14,500		5,000						20,000		①目標値を達成	
熊本県ワーケーションネットワーク参画事業者等数 0者(R3) ⇒ 50者(R6)	観光戦略部	者	0	10	23	20		20						50		①目標値を達成	
滞在・交流プログラム利用者数 0人(R3) ⇒ 200人(R6)	観光戦略部	人	0	60	110	70		70						200		①目標値を達成	

推進 24

プロジェクト名(事業期間)	スポーツと芸術文化を活用した地域活性化事業(令和2年度～令和6年度)
プロジェクト概要	大分県との連携により、将来性のあるスポーツイベント(アーバンスポーツ、国際サイクルレース)の開催を契機とした人の流れを呼び込む取組みを進め、国内外からの観光客を中心とした交流人口・関係人口の拡大、ひいては地域経済の活性化につなげる。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	ツール・ド・九州受入環境整備事業	観光戦略部	24,494	12,247	ツール・ド・九州のプレイベントとして、ジュニアのロードレースや一般の方を対象にしたアンバサダーライドを実施。
2	アーバンスポーツ展開実証事業	観光戦略部	29,000	14,500	アーバンスポーツモニターイベント等を開催し、アーバンスポーツによる県内への誘客を実施。
			53,494	26,747	

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和6年度増加分		令和4年度 評価	令和2年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
スポーツ合宿等受入人数 60,386人 ⇒ 94,786人(R6)	観光戦略部	人	60,386	6,000	26,766	7,000	28,003	7,200	集計中 (R5.10)	7,100		7,100		34,400		⑤実績値集計中	
カルチャーツーリズム等参加者数 250人 ⇒ 500人(R6)	観光戦略部	人	250	50	706	50	857	50	集計中 (R5.10)	50		50		250		⑤実績値集計中	
パラスポーツイベント参加者数 0人 ⇒ 2,300人(R6)	観光戦略部	人	0	2,100	0	50	5,344	50	集計中 (R5.10)	50		50		2,300		⑤実績値集計中	
イベント参加者数 300人 ⇒ 50,000人(R6)	観光戦略部	人	300	-	-	-	-	6,700	集計中 (R5.10)	39,000		4,000		49,700		⑤実績値集計中	

推進 繰越分1

プロジェクト名(事業期間)	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト（平成30年度～令和4年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	地震断層等の震災遺構を巡る回廊型フィールドミュージアムを実現し、熊本地震の記憶や経験、教訓を国内外に発信することで防災・減災の取組に貢献する。さらに回廊ルートを新たな観光資源と捉え、県内の観光地とつなぎ巡ることで、交流人口の拡大を図るとともに、地域産業の振興や地域の活性化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業 熊本地震震災ミュージアム中核拠点整備事業	観光戦略部	49,159	24,580	熊本地震震災ミュージアム中核拠点展示・学習施設内(体験・展示施設)で展示する映像等のコンテンツを専門家の監修のもと制作。
			49,159	24,580	

推進 繰越分2

プロジェクト名(事業期間)	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト（令和3年度～令和5年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	これまで進めてきた草原の保全・維持の取組みを、SDGsを原動力に、「環境」・「経済」・「社会」の3つの側面から統合的に深化させながら、「環境の保全」「農畜産業の振興」に加え、「関係人口の増加」「交流人口の増加」「移住定住の促進」「シビックプライドの醸成」を図り、阿蘇地域の持続的な発展を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	阿蘇草原再生事業	企画振興部	6,930	3,465	・草原維持の在り方や県として取り組むべき課題等を検討するための「阿蘇草原維持再生基礎調査」を実施。 ・車帰原野(阿蘇市)と狩尾牧野(阿蘇市)における灌木等の除去作業を実施し、野焼きの作業省力化に寄与。
2	持続可能な草原維持システム構築推進事業	企画振興部	5,940	2,970	・草原維持活動に取り組む企業・団体を支援する「阿蘇草原応援企業サポーター認証制度」を創設し、20団体を認定。 ・赤外線カメラ付きドローンや運搬用ドローンを活用し、野焼きの作業省力化に向けた検討を実施。
			12,870	6,435	

推進 繰越分3

プロジェクト名(事業期間)	くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト（令和3年度～令和5年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	デジタルの視点を取り入れたマーケティング手法の確立や、周遊性・滞在性の更なる向上、民間活力を活用した魅力的な観光施設の整備といった、スマートツーリズムの仕組みづくりと地域の魅力向上・観光の高質化に取り組み、地域経済の活性化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円) (交付金 対象外含む)	うち交付金 (千円)	
1	スマート観光提案型システム構築事業	観光戦略部	15,981	7,990	スマート観光提案型システムの構築を行うため、システム機能設計の作成及びシステム基礎部分を開発。
			15,981	7,990	

単県 1

事業名	放課後児童クラブ施設整備事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	子どもの健全な育成及び保護者の仕事と育児の両立を支援するため、放課後児童クラブの整備に要する経費を助成する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円)	うち企業版ふるさと納税(千円)	
1	放課後児童クラブ施設整備事業	健康福祉部	52,029	1,000	県内9市町村15クラブ分の放課後児童クラブの整備を支援。
			52,029	1,000	

単県 2

事業名	放課後児童クラブ利用サポート事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	放課後児童クラブに通所する低所得世帯の利用料を支援し、経済的理由から放課後児童クラブの利用を控えることのないようにすることで、児童の健全な育成を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円)	うち企業版ふるさと納税(千円)	
1	放課後児童クラブ利用サポート事業	健康福祉部	3,475	300	放課後児童クラブを利用する就学援助世帯の利用料補助を実施した6市町村に対して、支援を実施。

単県 3

事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	ひとり親家庭の父又は母及び児童の健康を保持し生活の安定を図るため、ひとり親家庭等の医療費助成事業を行う市町村に対して補助金を交付する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円)	うち企業版ふるさと納税(千円)	
1	ひとり親家庭等医療費助成事業	健康福祉部	98,059	1,300	県内44市町村(熊本市を除く)に対し、補助金を交付(助成延べ件数:102,432件)。

単県 4

事業名	産業教育設備整備事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	県立高等学校の産業教育における教育効果を確保するため、新技術に対応した産業教育に必要な実験実習設備の更新や新規購入等を行う。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円)	うち企業版ふるさと納税(千円)	
1	産業教育設備整備事業	教育庁	2,500	2,200	NCルータ等工作機械等の実習機器、車いすや高齢者疑似体験セットなどの実習機材(福祉系高校)、被服台(家庭科)及び農業系高校への3Dプリンタの購入や県立技術短期大学の汎用フライス盤の配置転換(工業系高校)、水産高校のポンプ修繕(天草拓心高校)を実施。

単県 5

事業名	半導体サプライチェーン構築加速化事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	TSMCの進出を契機に半導体関連企業の立地を加速させ、国を支える半導体サプライチェーンを熊本に構築する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円)	うち企業版ふるさと納税(千円)	
1	半導体サプライチェーン構築加速化事業	商工労働部	1,000	1,000	セミコン展示会への出展を実施するとともに、半導体に係る大規模セミナー(誘致企業トップや知事の講演会及び交流会)を実施し、県半導体産業のPR及び関連事業の誘致を実施。

単県 6

事業名	県民ゼロカーボン行動促進事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	県民等のCO2排出削減に効果的な行動を促進するための取組みを行う。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円)	うち企業版ふるさと納税(千円)	
1	県民ゼロカーボン行動促進事業	環境生活部	15,534	235	家庭で実践していただき取組み等をまとめた「ゼロカーボンくまもと行動ブック」を活用した普及啓発、環境教育の実施。「ゼロカーボン 社会・くまもと 県民会議」を立ち上げ、66 団体との連携体制を構築。

単県 7

事業名	環境立県推進課職員給 【企業版ふるさと納税活用】※人材派遣型
事業概要	企業版ふるさと納税の仕組みを活用して、専門的知識・ノウハウを有する企業の人材を受け入れることにより、地方創生のより一層の充実・強化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円)	うち企業版ふるさと納税(千円)	
1	環境立県推進課職員給 ※企業版ふるさと納税 (人材派遣型)	環境生活部	9,205	9,205	企業版ふるさと納税を活用して民間企業から派遣された職員の給与。

単県 8

事業名	プロスポーツによる地域活性化事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	アフターコロナを見据え、熊本ヴォルターズによるホーム試合を活用し、落ち込んだ観客動員数の回復、アウェー客への県内観光PRを実施し、県内プロスポーツチームによる地域活性化、本県への誘客促進を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和4年度 実績額		令和4年度 事業実績
			総事業費(千円)	うち企業版ふるさと納税(千円)	
1	プロスポーツによる地域活性化事業	観光戦略部	13,996	13,996	熊本ヴォルターズのホーム試合への無料招待等を行い、新たなファン獲得に対する支援を実施(1シーズン中に6回、延べ5600人)。

デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生拠点整備タイプ）等

（平成29年度～令和4年度実施分）

拠点 1

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	畜産新技術導入による生産性・競争力強化プロジェクト			
事業概要	畜産の生産性向上のための新技術と、競争力強化のための各種技術を習得できる教育施設を農業大学校内に整備する。これらの技術を習得した担い手が、県内各地域で生産性革命を起こし、担い手不足や購入飼料費の高騰等で閉塞的になっている地域の畜産生産性を向上させ、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～令和元年10月			
事業実績	H30年度は、次代の本県農業を担う優れた農業経営者の育成を図るため、新たなスマート畜舎、発酵TMR製造施設等の実施設計を完了し、本体工事に着手。R1年度は、畜産の生産性向上と競争力強化のため、農業大学校内にスマート牛舎、TMR調製施設及び発情発見分娩管理システムを整備。これらを活用し、学生の各種技術の習得を促進。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	367,364
			うち交付金	102,423

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和4年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
本校畜産学科卒業者が従事する畜産経営体の所得向上 100%(H29)→103%(R4)	農林水産部	%	100.0	0	0	0	0	1.0	0.0	1.0	0	1.0	0	3.0	0	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
発情発見分娩管理システム導入による繁殖成績(毎年子牛を生む雌の割合)向上 46%(H29)→50%(R4)	農林水産部	%	46.0	0	0	1.0	1.0	1.0	3.0	1.0	1.0	1.0	0	4.0	5.0	④目標値の達成は5割未満	①目標値を達成
農業大学校における畜産物加工レシピ作成数 0点(H29)→7点(R4までの累計)	農林水産部	点	0	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	7	8	①目標値を達成	①目標値を達成

拠点 2

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	海藻増養殖研究機能強化による海藻の生産性革命プロジェクト			
事業概要	海藻増養殖研究施設及び研修機能を熊本県水産研究センター内に整備し、海藻の新たな増養殖技術開発と次世代を担う優れた人材の育成を強化することで、地域漁業者の生産性革命を起こし、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～平成31年3月			
事業実績	海藻の新たな増養殖技術開発と漁業者に海藻に関する実地技術研修を行い、優れた人材の育成を図るため、海藻研究施設、付帯研究設備、研修用水槽等の環境教育設備を整備。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	136,025
			うち交付金	63,517

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和4年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
採藻漁業及び海藻養殖業のうち、対象とする主要海藻4種の生産額 250百万円(H28)→300百万円(R4)	農林水産部	百万円	250	0	0	10	-94	10	11	10	21	20	53	50	-9	①目標値を達成	④目標値の達成は5割未満
本研究施設で海藻を飼育・培養ができる実地技術研修を受講する漁業者数 0人(H28)→800人(R4までの累計)	農林水産部	人	0	0	0	200	243	200	172	200	230	200	228	800	873	①目標値を達成	①目標値を達成
本研究施設で行う新たな海藻類増養殖技術開発数 0件(H28)⇒24件(R4までの累計)	農林水産部	件	0	0	0	3	5	7	6	7	7	7	6	24	24	②目標値の7割以上を達成	①目標値を達成

拠点 3

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	林業生産性向上のための研修拠点強化プロジェクト			
事業概要	林業の技術力・生産性向上のための技術を習得できる教育施設を林業研究所内に整備し、これらの技術を習得した人材が、豊富な森林資源の有効活用を促進し、林業の成長産業化による地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～令和元年9月			
事業実績	H30年度は、林業従事者の林業生産性向上を図るため、林業従事者等に対する研修や、林業研究・研修センターにおける研究成果の情報発信の場として整備する研修館等の実施設計を完了し、工事に着手。併せて、伐倒安全訓練設備導入及び機械運転等実技スペースの整備を開始。 R1年度は、林業生産性向上に資する研修拠点強化整備のため、林業技術研修施設等の建築工事及び伐倒安全訓練設備購入が完了し、R1年10月18日から施設運営を開始。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	641,926
			うち交付金	207,765

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和4年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
研修を受講した県内認定事業体における素材生産の労働生産性 5.1m <sup>3</sup> /人日(H29)→7.1m <sup>3</sup> /人日(R4)	農林水産部	m <sup>3</sup> /人日	5.1	0	0	0.1	0.22	0.40	0.36	0.60	0.44	0.90	集計中(R5.11)	2.00	集計中(R5.11)	⑤実績値集計中	⑤実績値集計中
研修を受講した県内認定事業体の素材生産に係る従業者数 578人(H29)→640人(R4)	農林水産部	人	578	0	0	0	0	10	142	30	54.00	22	集計中(R5.11)	62.00	集計中(R5.11)	⑤実績値集計中	⑤実績値集計中
研修を受講した県内認定事業体の素材生産量 558千m <sup>3</sup> /年(H29)→860千m <sup>3</sup> /年(R4)	農林水産部	千m <sup>3</sup> /年	558	0	0	0	0	160.00	150.00	40.00	92.00	102.00	集計中(R5.11)	302.00	集計中(R5.11)	⑤実績値集計中	⑤実績値集計中

拠点 4

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	阿蘇草原を活用した畜産農家の放牧・飼養管理生産性革命プロジェクト			
事業概要	IC、IoT技術を活用した肉用牛等生産技術の開発やドローン等による画像解析技術を利用した草地の管理方式、並びに畜産技術を有する人材育成により、草原を活用した畜産の生産性を向上させ、阿蘇の草原再生と地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～令和元年11月			
事業実績	H30年度は、研究拠点整備により、肉用牛生産の技術開発並びに人材育成を図るため、施設の実実施設計及び既存施設の解体を完了し、リモート家畜管理施設及び肉用牛等繁殖技術研究施設の工事に着手。 R1年度は、肉用牛生産の技術開発並びに人材育成を図るため、リモート家畜管理施設及び肉用牛等繁殖技術研究施設の整備を完了。ICT、IoT技術を活用した肉用牛生産及び草地管理の試験研究に着手し、研修の受け入れを開始。R2、R3年度は、ICT、IoT技術を活用した肉用牛生産及び草地管理の試験研究が順調に進捗し、研修の受け入れは予定以上に実施。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	350,305
			うち交付金	89,930

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和4年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
新たな放牧実施による経費削減効果 0千円(H26)→31,318千円(R4までの累計)	農林水産部	千円	0	0	0	3,773	75,468	3,773	268,291	11,320	0	12,452	集計中(R6.1)	31,318	集計中(R6.1)	⑤実績値集計中	⑤実績値集計中
放牧管理及び繁殖管理の省力化技術の開発数(成果情報等) 0件(H26)→2件(R4までの累計)	農林水産部	件	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	2	2	5	①目標値を達成	①目標値を達成
繁殖・放牧管理技術等の研修受講者数 0人(H26)→50人(R4までの累計)	農林水産部	人	0	0	0	10	15	10	62	15	41	15	108	50	226	①目標値を達成	①目標値を達成

拠点 5

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	先端技術を活用した畜産の生産性革命プロジェクト			
事業概要	先端技術を活用した育種改良、家畜飼養管理技術の開発等を行う拠点施設の整備を図り、ICTを活用した酪農経営、輸入豚肉に対抗した国産豚肉生産、輸出を目指した地鶏生産等の生産性革命による地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～令和元年12月			
事業実績	H30年度は、研究拠点整備により、省力・低コスト生産、経営の安定、ブランド力の強化を図るため、各施設等の実施設計を完了し、養豚の人工授精研究施設の整備を完了。その他の酪農施設等については、本体工事に着手。 R1年度は、省力・低コスト生産、経営の安定、ブランド力の強化を図るため、各施設及び機器の整備を完了。鶏の遺伝子育種や給与飼料体系、豚の育種改良、搾乳ロボットや各種センサーのICTをフル活用した飼養管理技術確立等に関する試験研究に着手。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	1,326,998
			うち交付金	354,319

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和4年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
県内天草大王の単価及び出荷羽数増による販売額 204,000千円(H28)→402,900千円(R4)	農林水産部	千円	204,000	0	0	56,100	0	47,600	0	47,600	0	47,600	13,737	198,900	13,737	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
県内養豚農家における県有高能力デュロック種豚の人工授精用精液利用量 100本(H28)→3,100本(R4)	農林水産部	本	100	0	0	200	0	600	0	200	0	2,000	0	3,000	0	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
ICTを活用した搾乳・飼養管理技術の開発数 (熊本県農業研究成果情報) 0件(H27)→4件(R4までの累計)	農林水産部	件	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	3	4	4	①目標値を達成	①目標値を達成

拠点 6

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	長期貯蔵による農産物の生産性向上・高付加価値化拠点形成プロジェクト			
事業概要	農産物の長期貯蔵技術確立のための施設をアグリシステム総合研究所に整備し、販売チャネルの拡大や安定出荷の生産性革命により農家所得を向上させ、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～令和2年3月			
事業実績	H30年度は、生産者数の減少が続いている野菜類について、販売チャネルの拡大と安定出荷により、輸出増加を図るため、長期貯蔵技術を研究する施設の実施設計を完了。 R1年度は、販売チャネルの拡大と安定出荷により、輸出増加を図るため、農産物の長期貯蔵を可能にするための長期貯蔵施設等の整備を完了。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	416,102
			うち交付金	107,702

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和4年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
主力品目であるトマトの船舶輸出額の増加 6百万円(H27)→375百万円(R4)	農林水産部	百万円	6	0	0	31	0	72	0	110	2	156	0	369	2	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
輸出マニュアル作成品目数 0品目(H27)→10品目(R4までの累計)	農林水産部	品目	0	0	0	3	0	3	3	2	3	2	5	10	11	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成
長期保存向け栽培技術の技術移転農家数 0戸(H27)→121戸(R4までの累計)	農林水産部	戸	0	0	0	31	0	30	0	30	34	30	427	121	461	①目標値を達成	①目標値を達成

拠点 7

交付対象事業(実施年度)	平成29年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	情報通信及び解析技術を活用した施設園芸の統合環境制御による生産性向上プロジェクト			
事業概要	生産量日本一を誇るトマトに代表される全国有数の施設園芸産地において、環境制御機能を備えた研究施設を整備し、栽培管理条件最適化等による生産性革命と経営体質強化により、地域経済の活性化を図り地方創生を推進。			
実施期間	平成30年3月～令和元年9月			
事業実績	地域の中堅・中小・小規模事業者である農家の土地生産性及び労働生産性を高めるため、情報通信及び解析技術を活用した施設園芸の開発等を行う拠点施設を利用して野菜や花き等の栽培試験を実施し、研究成果情報を発表した。			
担当部局	農林水産部	実績額	総事業費(千円)	1,097,990
			うち交付金	255,108

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	平成30年度増加分		令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		合計		令和4年度 評価	平成30年度～令和4年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
高度環境制御システム導入圃場(冬春トマト(ミニトマトを除く))の販売額 4,031百万円(H26～H28平均)→5,323百万円(R4)	農林水産部	百万円	4,031	0	0	323	64.7	323	2.4	323	6	323	8.2	1,292	81	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
熊本県農業研究成果情報(環境制御技術、新品種、病害虫発生予測システム等)の発表数 0件(H29)→8件(R4までの累計)	農林水産部	件	0	0	0	0	0	3	3	2	3	3	6	8	12	①目標値を達成	①目標値を達成
栽培管理マニュアル導入し、生産性革命に取り組む農家戸数 0戸(H29)→480戸(R4までの累計)	農林水産部	戸	0	0	0	0	0	180	300	120	162	180	9	480	471	④目標値の達成は5割未満	②目標値の7割以上を達成

拠点 8

交付対象事業(実施年度)	平成30年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムにおける中核拠点整備プロジェクト			
事業概要	地震断層等の震災遺構を巡る回廊型フィールドミュージアムの中核拠点に位置付けている東海大学阿蘇キャンパスを効果的に見学できるよう、1号館建物を保存、整備することで交流人口の拡大を図るとともに、地域産業の振興や地域の活性化を図る。			
実施期間	平成31年3月～令和2年3月			
事業実績	熊本地震震災ミュージアムの中核拠点である旧東海大学阿蘇キャンパス内にある震災遺構を効果的に見学できるようにするため、旧1号館の保存整備及び遺構見学通路の整備を令和2年3月に完了。令和2年8月1日から一般公開を開始。			
担当部局	観光戦略部	実績額	総事業費(千円)	243,723
			うち交付金	121,862

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		合計		令和4年度 評価	令和元年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
1号館建物訪問者数 0人(H30)→195,360人(R5)	観光戦略部	人	0	0	0	24,000	15,269	152,000	30,012	17,600	72,672	1,760	195,360	195,360	①目標値を達成		
1号館建物を訪れるツアー参加者数 0人(H30)→19,536人(R5)	観光戦略部	人	0	0	0	2,400	4,270	15,200	7,083	1,760	4,628	176	19,536	19,536	①目標値を達成		
1号館建物訪問による観光消費額 0百万円(H30)→1,914.5百万円(R5)	観光戦略部	百万円	0	0	0	235.20	157.65	1,489.60	209.56	172.48	536.15	17.24	1,914.52	1,914.52	①目標値を達成		

拠点 9

交付対象事業(実施年度)	令和3年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	熊本地震の経験や教訓等を未来に語り継ぐ熊本地震震災ミュージアム体験・展示施設整備プロジェクト【企業版ふるさと納税活用】			
事業概要	熊本地震の経験や教訓等と熊本が誇る自然の豊かさや熊本地震から復旧・復興を遂げる姿を発信する熊本地震震災ミュージアム中核拠点「体験・展示施設」を整備することで、本県の交流・関係人口の拡大、ひいては移住定住の促進や地域産業の回復による地域活性化を通じた熊本地震からの創造的復興の推進を図り、本県の地方創生を深化させる。			
実施期間	令和4年3月～令和5年3月			
事業実績	体験・展示施設の建築工事をはじめとする整備を実施した。 (開館予定: 令和5年(2023年)7月)			
担当部局	観光戦略部	実績額	総事業費(千円)	916,796
			うち交付金	458,398

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		合計		令和4年度 評価	令和4年度～令和8年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値										
体験・展示施設来場者数 現時点 0人(R3)→102,000人(R8)	観光戦略部	人	0	0	0	67,000	/	33,000	/	1,000	/	1,000	/	102,000	/	⑥令和5年度以降にKPIを設定	/
中核拠点(旧東海大学阿蘇キャンパス)を教育旅行を目的で訪れる小中学校及び高校の学校数 現時点 50校(R3)→180校(R8)	観光戦略部	校	50	0	0	110	/	50	/	10	/	10	/	180	/	⑥令和5年度以降にKPIを設定	/
体験・展示施設来場による観光消費額 現時点 0円(R3)→1,562百万円(R8)	観光戦略部	百万円	0	0	0	1,025	/	505	/	16	/	16	/	1,562	/	⑥令和5年度以降にKPIを設定	/